

科目名 (科目番号)	保健栄養学特講Ⅱ (時間割参照)	教員名	柴崎みゆき 増野弥生 池本真二	学科等	保健栄養	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	各教員研究室	
授業概要	臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学の専門科目担当教員より、各専門分野におけるトピックスを含めた重要事項について基本的な話題のみならず最新の話題についても提供する。学生はその内容を加味した形で、各教科でこれまで習得した知識を総合的に整理し、最終的には栄養マネジメントの実践能力として涵養する。教員はこの過程を常に補佐し、場合によってはさらに進んだ情報や考察の提供も行い、学生の自主的学習能力の向上を支援する。							
目的・目標	目的:臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学分野における専門職としての管理栄養士に必要な広範な知識を身に付けることができる。 目標:臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学分野における学習内容を横断的かつ統括的に理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	(オムニバス方式／全15回)							
	池本真二／5回 到達目標：臨床栄養学領域における栄養マネジメントの総合的な理解および問題形式での実践ができる 学習内容：臨床栄養学領域の重要事項確認と最新の話題提供、ならびに問題演習により実践力を養う							
	柴崎みゆき／5回 到達目標：問題演習形式にて、給食経営管理論における総合的な知識を理解・整理する力を養う 学習内容：給食経営管理論に関連する話題提供と演習を行う							
	増野弥生／5回 到達目標：問題演習形式にて、公衆栄養学における総合的な知識を理解・整理することができる 学習内容：公衆栄養学に関連する重要事項の確認と話題提供、及び問題演習形式により実践力の涵養							
成績評価の方法・基準	対面時:期末テスト(100%)の成績で評価する。(内訳 臨床栄養学 34%、給食経営管理論 33%、公衆栄養学 33%) オンライン時:各回の課題やレポートの成績で評価する。 (内訳 臨床栄養学 34%、給食経営管理論 33%、公衆栄養学 33%)							
教科書	各教科で使用した教科書を持参すること。							
参考図書	適宜、資料を配布する。							
教員からのメッセージ	授業オリエンテーションを4月の4年生ガイダンスで行います。授業に関する連絡は原則として掲示およびクラスルームで行います。毎日確実に掲示板およびクラスルームをチェックしてください。掲示・クラスルームを見なかったことによる不利益は、学生個人の責任になります。なお、授業の進捗その他の事情で、授業展開順序や内容に関する変更がある場合があります。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							

科目名 (科目番号)	保健栄養学特講Ⅱ (時間割参照)	教員名	池本真二 柴崎みゆき 増野弥生	学科等	保健栄養	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	演習	オフィスアワー	各教員研究室	
授業概要	臨床栄養学」、給食経営管理論、公衆栄養学の専門科目担当教員より、各専門分野におけるトピックスを含めた重要事項について基本的な話題のみならず、最新の話題についても提供する。学生はその内容を加味した形で、各強化でこれまで習得したと式を総合的に整理し、最終的には絵利用マネジメントの実践能力として涵養する。教員はこの過程を常に補佐し、場合によっては、さらに、進んだ情報や考察の提供も行い、学生の自主的学習能力の向上を支援する。							
目的・目標	目的:臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学分野における専門職としての管理栄養士に必要な広範な知識を身に付けることができる。 目標:臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学分野における学習内容を横断的かつ統括的に理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	臨床栄養学 国試の出題傾向、1. 臨床栄養の概念	到達目標：臨床栄養学分野の出題傾向とその内容並びに、「臨床栄養の概念」を解説できる。 学習内容：臨床栄養学分野の出題傾向とその内容を理解し、「臨床栄養の概念」の理解を問題形式で学ぶ。					
	2	臨床栄養学 2. 傷病者・要介護者の栄養管理	到達目標：「傷病者・要介護者の栄養管理」に関する国試問題を解説できる。 学習内容：「傷病者・要介護者の栄養管理」に関する理解を問題形式で学ぶ。					
	3	臨床栄養学 3. 疾患・病態別栄養管理①	到達目標：「疾患・病態別栄養管理（栄養障害～循環器疾患）」に関する国試問題を解説できる。 学習内容：「疾患・病態別栄養管理（栄養障害～循環器疾患）」に関する理解を問題形式で学ぶ。					
	4	臨床栄養学 3. 疾患・病態別栄養管理②	到達目標：「疾患・病態別栄養管理（腎・尿路～筋・骨格疾患）」に関する国試問題を解説できる。 学習内容：「疾患・病態別栄養管理（腎・尿路～筋・骨格疾患）」に関する理解を問題形式で学ぶ。					
	5	臨床栄養学 3. 疾患・病態別栄養管理③	到達目標：「疾患・病態別栄養管理（免疫・アレルギー～妊産婦・授乳婦疾患）」に関する国試問題を解説できる。 学習内容：「疾患・病態別栄養管理（免疫・アレルギー～妊産婦・授乳婦疾患）」に関する理解を問題形式で学ぶ。					
	6	公衆栄養学 管理栄養士国家試験ガイドラインイ及び過去の出題傾向	到達目標：国家試験出題基準の公衆栄養学分野の理解及び問題形式による実践力の涵養 学習内容：国家試験出題基準の公衆栄養学分野について理解できる					
	7	公衆栄養学	到達目標：公衆栄養学の概念についての理解及び問題形式による実践力の涵養 学習内容：公衆栄養学の概念についての理解及び問題形式での実践ができる					
	8	公衆栄養学	到達目標：公衆栄養学活動の基本と展開過程の理解及び問題形式での実践力の涵養 学習内容：公衆栄養学活動の基本と展開過程の理解及び問題形式での実践ができる					
	9	公衆栄養学	到達目標：健康・栄養問題の現状と課題について、栄養政策についての理解および問題形式での実践力の涵養 学習内容：健康・栄養問題の現状と課題について、栄養政策についての理解および問題形式での実践ができる					
	10	公衆栄養学	到達目標：栄養疫学と地域診断と公衆栄養マネジメントの理解及び問題形式での実践力の涵養 学習内容：栄養疫学と地域診断と公衆栄養マネジメントの理解及び問題形式での実践ができる					
	11	給食経営管理 管理栄養士国家試験ガイドラインイ及び過去の出題傾向	到達目標：国家試験出題基準の給食経営管理分野を理解及び問題形式での実践ができる 学習内容：国家試験出題基準の給食経営管理分野について理解できる					
	12	給食経営管理 給食、給食経営管理の概念	学習内容：給食、給食経営管理の概念の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養 到達目標：給食、給食経営管理の概念の理解および問題形式での実践ができる					
	13	給食経営管理 栄養・食事管理	学習内容：栄養・食事管理の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養 到達目標：栄養・食事管理の理解および問題形式での実践ができる					
	14	給食経営管理 給食経営における品質管理、生産管理、提供管理	学習内容：品質、生産、提供管理の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養 到達目標：品質、生産、提供管理の理解および問題形式での実践ができる					
15	給食経営管理 給食の安全・衛生	学習内容：給食の安全・衛生の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養 到達目標：給食の安全・衛生の理解および問題形式での実践ができる						
成績評価の方法・基準	対面時:期末テスト(100%)の成績で評価する。(内訳 臨床栄養学 34%、給食経営管理論 33%、公衆栄養学 33%) オンライン時:各回の課題やレポートの成績で評価する。 (内訳 臨床栄養学 34%、給食経営管理論 33%、公衆栄養学 33%)							
教科書	クエスチョンバンク管理栄養士2027（4月刊行予定）							
参考図書	適宜、資料、演習問題を配布する。各教科で使用した教科書を持参すること。 授業時間内に参考図書を紹介する場合もある。ESSによる問題配信を行うことがあるので、必ず、チェックをすること。							
教員からのメッセージ	各回の事前準備内容や授業の具体的な進め方については、各教員が個別に指示します。最初の授業でガイダンスを行います。授業に関する連絡は原則として掲示、クラスルームで行いますので、毎日確実に掲示板・クラスルームをチェックしてください。なお、授業の進捗その他の事情で、授業展開順序や内容に関する変更がある場合があります。オンライン授業に変更がある場合は、変更のシラバスを周知いたします。							